

## 放射線腫瘍医のステキな週末

みなさまこんにちは。2007年卒の牛島です。早いもので私の放射線腫瘍医としてのキャリアも10年以上となつてしまい、ベテランと呼ばれる年齢に足を突っ込んでおります。現在埼玉県立がんセンターで勤務をしております。

さて、この「放射線腫瘍医のステキな週末」。趣味を主とした放射線治療科メンバーの週末ライフの記事を私自身大変興味深く見ておりましたが、ついに依頼が来てしまいました。今年も色々ありこの原稿を作成しました(・・記事依頼を頂き初版を書いたのは年度初旬だったので推敲、加筆修正)。

自己紹介を兼ねてさっそく趣味を語ってみます。歴も長く一番の趣味という点ではまずは音楽です。群馬大学在学時の部活は色々と掛け持ちし、「理論先行系なんでも屋」悪く言えば器用貧乏という立ち位置だった、と自覚しております。

雑学(知識)としての音楽も好きで、音階、和音やリズムやら、理屈/ルーツを知識として本で読む、調べることは今も好きです。そのような知識(または屁理屈とも言う)を調べつつ、色々なジャンルの音楽に手を出し、少し器用に立ち回っていた学生時代です。(が、突き詰めて練習しなかったので大して上手くはない。)当然どの楽器も、どのジャンルもそれぞれに道は奥深いもので、学生同士であってもリスペクトできる人がいて、個性も上手下手も色々、一緒にやってみて楽しい。そんな音楽にまみれた学生時代でした。(同学年の尾池先生、安藤先生、水上先生には部活でも大変お世話になりました。)

雑食の、節操のない「なんでも屋」的な音楽遍歴を経て、最終的に今でも続けている音楽はジャズのドラムです。医学部6年生の冬、ジャズ研で学年の近い上手なメンツ(ピアノとベースだった)と、何とか一緒に音楽を続けたいと思ったのが始めたきっかけです。卒試直前に何やってんでしょうか。

卒業後音楽を続けるという目論見は彼らとの縁もあり上手くいき、数年間一緒にバンドを組んで演奏する機会がありました。主な練習場所はジャズ研の部室で、卒業後も部室から去らない老害OBを自覚し、自分(達)に名付けたバンド名は「残党」です。数年間の活動の結果、大学とは関係ない県内外にも音楽知り合いが出来、メンバーとして誘われジャズ喫茶や、高速のSAなどで演奏する機会にも恵まれました。何年か前に入局したO高先生はジャズ研の後輩であります。どうやら彼も順調にその道にハマっている噂を聞きます。良い傾向です。

埼玉に勤務となってからも、数年間は部活に顔を出したり、時には大宮のジャズ喫茶のセッションに参加したりしました。ジャズ界では「スタンダード曲」なる、いわばフォーマットがあり、テンポや伴奏スタイルの最小限の打ち合わせのみで、初対面の人同士でも一緒に演奏=セッションし、曲が成立してしまうのです。その曲たる要素(主にコード進行と言われるもの)に沿いつつも時には大胆に咀嚼しなおし、自分なりの演奏をする。これがまさにジャズの魅力であります。なお私の尊敬するジャズ研の大先輩は、ジャズはコミュニケーション手段であるとも言っておりました。これは至言です。

が、ここ数年大きく事情が変わり人前で演奏ができておりません。結婚して子供ができたためもありますが、何よりコロナ流行のため、(特に職場ルールの)色々きびしくなっていました。また大手を振っていけるその日まで、細々と自主練をするのみです。

ここ最近、もう一つハマっている楽器はピアノです。自分自身と娘の。私自身ピアノ自体は大して弾けませんが、それでも気に入った曲の耳コピを慰みにやっております。レパートリーは某アイドルの曲が多いのは秘密です。

その姿を見ていた娘がピアノやりたいと言い出した、今のところ、自分がなんとか教えております。さて、そんな音楽歴2年になった娘(小1)は、テレビで昔の音楽番組を見て「この音ファ#だ」などと言い始めました。・・正解です。それは、たまたま自分が軽音部で弾いていた曲でした。だから「知っていた」だけなのですが。たった2年で音感は敵わなくなっていました。親バカとは言え、子供の潜在能力恐るべし。将来一緒にバンドをするのが密かな夢です。

もう一点、休日の楽しみにしているのがメダカと水生植物の世話です。妻の実家から頂いた雑種メダカ数匹が子供を増やし、今では複数の角ダライや睡蓮鉢で飼育する分まで増えております。

昨今一匹数万円で取引されるような希少品種もあるようですが、私自身は品種にこだわりはなく、ただ泳いでいるのを見て心癒されております。また、水生植物(メダカの飼育上も有利な点が多い)を同時に育てておりますが、中でも一昨年からは睡蓮の栽培を楽しんでおります。姫睡蓮や熱帯睡蓮の一部は葉や花が小さく、一般的日本人住宅での栽培に適したサイズです。一昨年は葉のみ成長し花が咲かず意気消沈。昨年は色々調べて手をかけた結果か、姫睡蓮開花に成功。コツを何となく掴み、今年から鮮やかな青系の花を咲かす熱帯睡蓮の栽培に挑戦し、きれいに花をつけてくれました。来年にはきっと品種が増えていることでしょう。

はい。以上、まとまりませんが私の週末の楽しみを語ってみました。しっかり週末を楽しんで心が充実すると、たとえ体が多少疲れていてもスッキリした頭で月曜を迎え、週の仕事が頑張れるというのは不思議なものです。

写真。黄色は姫睡蓮(ヘルボラ)、紫は熱帯睡蓮(その名もムラサキシキブ)。メダカも泳いでます。



